

# 清友

No. 63

2014年11月



新宿御苑の懸崖造り菊花壇

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

## 「楽しかった〜」

### 大好評の江戸・東京水辺クルーズ



日本橋船着場にて

川から江戸の成り立ちを見るのは面白かった。小名木川は藤沢周平がよく舞台にした川で、「高橋」とか小説に出ていた橋を回れてよかった。(西田)

子どものころから身近にあった川や橋も、水面から見上げる川巡りはまた別の趣き。説明もゲー。古地図を持って行けばもっと良かったな。(坂東)

日本橋に残る関東大震災の焦げ跡や仕事で度々訪れた神田清掃事務所、三崎の積換え施設等を裏から拝見でき、扇橋閘門での水位を調整する水門潜りの体験など、本当に有意義な船旅でした。(辻)

10月20日に、「江戸・東京水辺クルーズ」を行い、家族を含め25名参加しました。

お江戸日本橋の船着場で乗船、日本橋川をさかのぼり日本経済の中心地区を見聞、神田川に入ってすぐが三崎作業所(ごみ積換え施設)、お茶の水の渓谷を経て、昌平橋の先では千代田清掃事務所職員と手を振って交歓、粋な柳橋

を過ぎると隅田川。対面の小名木川へわたり、東京の Panama 運河「扇

橋閘門」で、2mの水位差を体験。再び隅田川へ出て清洲橋とスカイツリーのベストショットを堪能、日本橋へ戻る2時間の小さな船旅は、意外性の連続で、江戸と東京の歴史丸かじりでした。

旧麹町清掃事務所は、旧元町事業所は、旧神田清掃事務所・研修所の佐久間河岸はあそこだとか、河川清掃は建設局の所轄になっているとか、清掃事業の歴史を懐かしんだり、大いに楽しみました。やはり圧巻は扇橋閘門でした。参加者から、「楽しかった」「来て本当によかった」などの感想をいただきました。



扇橋閘門の水門から滝のように落ちる水滴をあびないために傘をさす参加者



橋の上から手を振る保育園児(写真では小さくて見えない)に応える参加者

# 学習交流会



## 介護保険制度改正で 私たちの暮らしはどうなる

10月7日、中西自治退事務局長を講師に、清掃会館で学習交流会をもちました。

テーマは昨年につき「介護保険問題」で、今回は実践編。参加者は19名でした。

講義は①介護保険をめぐる状況、②介護保険の仕組み、



中西講師

③制度運営の現状、④介護の現状、⑤制度改正内容と問題点、⑥今後の取り組みと順序立てたもので分りやすく、実りある学習会になりました。そして、終了後、楽しく懇親しました。

件の改善が必須。

特養経営の社福法人の内部留保が1法人2億円あるとして、国は介護報酬のマイナス改訂の方向を示した。他産業比月収で10万円もの格差を是

中西講師の講演内容は、「都庁退学習会」(本紙9月号掲載)とダブるところがありますので、私たちの暮しに直結する部分に限定して報告します。

### どうする介護

急激な高齢化により、長生きがリスクになる状況にある。地域包括ケアシステムの構築が極めて重要。

### 制度改正の問題点

給付抑制と負担増の傾向が顕著で、政府は予防事業の市町村移行後も「今までと変わらないサービスを用意」と説明しているが、市町村に現行

### 何をすべきか

介護予防事業の市町村移行反対の取組みを強めることと、介護労働者の労働条



正しなければ、適正な介護サービスは提供されない。医療・介護・住宅の連携による地域包括ケアシステムの構築へ向けて、市町村の取組みに監視と注文付けをすることが必要。市民参加がポイントになる。

## 退職者会活動日誌

9月1日の第5回三役会以降10月7日の第2回幹事会まで ▼9月4日、「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動」が日比谷野音で開催され、6名参加。▼9月

7日、故大原五郎さん宅を庄司事務局長が訪問しお焼香。▼9月8日、宮三郎さん療養先へ庄司事務局長が訪問。▼9月11日、都庁退単会会長会議が開催され、堀田会長が参加。組織強化へ向けた各単会の取組み報告。▼9月14日に日本教育会館で地公退高齢者集会、15日に日比谷公会堂で全国高齢者集会。▼9月23日、「フクシマを忘れない!再稼働を許さない!さようなら原発全国集会」が亀戸中央公園で開催され、13名参加。▼9月28日、東京清掃第83回定期大会が文京区民センターで開催され、堀田会長と戸枝会計が参加。▼10月2日、第1回旅行部会を開催。旅行会の最終対応策を検討。▼10月7日、第6回三役会と第2回幹事会を開催。▼事務局会議・事務業務は9回。行事企画等定例業務他。



# 第2回幹事会

新春の集いは1月31日  
東京清掃交付金の増額を  
踏まえた各種行動参加の  
活発化などを確認

10月7日に第2回幹事会を開き、①新春の集い、②当面の財政運営方針、③動員行動の取扱い等を確認しました。

## ■新春の集い

既にお知らせしてありますが、今年度の「新春の集い」は1月31日に、小石川後楽園涵徳亭で開催します。12月に参加募集の案内を差し上げますので、カレンダーにしつかりマークしておいてください。

## ■当面の財政運営

東京清掃よりの交付金が年60万円から96万円へ増額になりました。会員が再建時より倍増していること、退職者会の動員協力などが考慮されたものとの思います。財政的に厳しい状況でしたから、本当にありがたいことです。

この増額分の使い方として、①会の運営は従来通り「質素儉約」をむねに、増額分をあ

てにしないで対応する、②財政的理由で支給してこなかった各種行動などの交通費相当の支給にあてる、③記念行事経費積立金など経常経費と異なる性格の経費にあてることを基本にします。

## ■動員行動の取扱い

東京清掃交付金の増額により、各種行動参加に伴う交通費等を支給できる環境が整ったことを踏まえ、従来の「自治退東京都本部が行動を指示した集会・行動」に積極的に参加するといふ考え方に加え、「東京清掃が指令を発した集会・行動」にも積極的に参加することにしました。今後、行動参加をお願いするケースが増えると思えます。体力と気力に相談のうえご協力ください。



10月24日に開催された東京清掃賃金確定第一波総決起集会



## 東京清掃の賃金確定闘争を応援

10月22日、自治退都本部第25回定期総会が調布文化会館で開催され、堀田会長、戸張副会長が代議員として参加しました。本郷会長は挨拶で「安倍首相は戦争のできる国を目指している。平和憲法を守り、平和と民主主義を守るため行動すること

が重要課題だ。」と、反安倍政権の姿勢を明確にしました。今回の総会で交通局退職者会が自治退都本部に正式加盟、規約を改正し「都庁部会・区部会・市町村部会」の4部会制になり、東交部会から副会長と常任幹事が選出されました。総会は、年金・医療・介護・税制を改善する取組みと平和・民主主義を守る闘いを柱とする方針等を確認し、4部会のさらなる団結強化へ、本郷会長の音頭による団結ガンバロー三唱で閉めました。(庄司)

## 自治退都本部第25回定期総会 反安倍政権の闘い強化を確認 東交退が正式加盟4部会制に

今回の総会で交通局退職者会が自治退都本部に正式加盟、規約を改正し「都庁部会・区部会・市町村部会」の4部会制になり、東交部会から副会長と常任幹事が選出されました。

10月8日、特別区人事委員会は、①月例給809円(0・20%)引上げ、②一時金0・25月引上げ(4・20%)、③地域手当2%引上げと同程度(平均1・79%)の給料月額引下げを勧告しました。15年にわたる賃金引下げ・据置きの流れを止めたものの、引上げ額は物価上昇分を下回っています。また、国の地域間給与見直しに追従した本給の地域手当振替は不当です。今年の賃金確定闘争も厳しそうですが、退職者会は各決起集会を激励し、東京清掃の闘いを応援します。

# 真実はたった一つ！ 石川さんは無実だ！



石川さん夫妻

け、「警察・検  
察の証拠捏造や  
証拠隠しが冤罪  
を生み続けてき  
た。石川さんは  
無実だ。」と訴  
えました。死刑  
囚としての長期間拘束によ  
り精神を病んでしまった袴  
田さんは、少しづつですが  
回復している様子でした。

1974年の寺尾有罪判決か  
ら40年目の節目を迎えた10月  
31日、日比谷で狭山集会在開  
かれました。

弁護団から、前日の30日に  
行われた三者協議（裁判官・  
検察・弁護士）で28点の新証  
拠が開示され、石川さんの無  
実がますます明白になってい  
るものの、検察は依然として  
膨大な証拠を隠し持っており、  
それらを早急に開示させたい  
との報告がありました。

集会には冤罪に苦しんだ足  
利事件の菅谷さん、布川事件  
の杉山さん、再審は開始され  
たものの未だ無罪に至ってい  
ない袴田さんが応援にかけつ

また、石川さんが定期的  
に行っている高裁前アピ  
ル行動を応援している市民が、  
揃いのハッピーをあつらえて登  
場、石川さん有罪説捏造の場  
となった被害者の万年筆発見  
場所とされた石川さん宅カモ  
イの模型  
を展示。  
支援の輪  
は確実に  
広がって  
います。



揃いのハッピーで登場した支援グループ  
石川さん宅のカモイ模型も登場

## 日弁連主催「憲法違反の集団的自衛権 行使反対大集会」に3千人結集



「戦争させない」「閣議決定撤回」の  
プラカードを掲げる集会参加者

10月8日、安倍政権による集団的  
自衛権行使容認の閣議決定撤回と戦争  
関連法の成立阻止、日米ガイドライン  
改定反対を目指して、日比谷で日本弁  
護士会連合会主催の集会在開かれ、約  
3千人集まりました。

主催者の日弁連会長は「法律家の使  
命は人権擁護だ。戦争は最大の人権侵  
害であり、人権を守るため、平和を  
危うくする集団的自衛権に反対する。」  
と挨拶し、弁護士と市民が直接スクラ  
ムを組む歴史的な集会になりました。

## 「戦争への道をゆるさない東京集会」 日比谷公会堂満席の2千人結集



事例を示して講演する前泊講師

10月17日、「戦争への道をゆるさな  
い東京集会」が日比谷で開かれました。  
講演した前泊博盛さん（沖縄国際大  
学教授・元琉球新報論説委員長）は、「政  
府は危険な米軍基地と原発を沖縄・福  
島など地方に押しつけ、事故が起きて  
も都合が悪いことはなかったことにし  
ている」と日本政府を批判しました。  
主催団体構成労組の東京全労協を代  
表して瀧瀬議長（東京清掃副委員長）  
が決意表明。東京清掃は運動の中心を  
担っています。退職者会も頑張るぞ。